

軽度認知障害(MCI)とサルコペニアの 患者登録システム



国立研究開発法人国立長寿医療研究センター理事長

鳥羽 研二



NCGGの認知症臨床研究の実績

平成22年

23年

24年

25年

26年

創薬／診断
先進医療

認知症先進医療
開発センター

Lead compound
Anti Aβ (patent)
Anti Tau (patent)

Amyloidイメージングと関連する
血液バイオマーカーを開発

FDG PET先進医療認可

モデル医療

世界最大級認知症疾患センター
新患1000／年

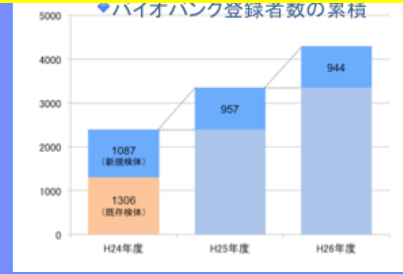
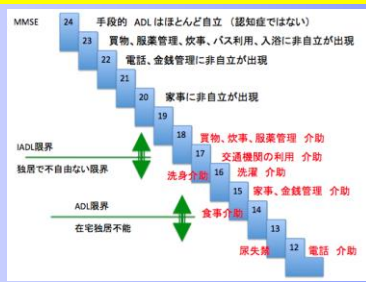
認知症の進行と生活障害データベース

認知症血液、DNAデータベース

データベース



医師 初診担当6名（老年科6名、神経内科7名、精神科2名、脳外科1名）
（認知症学会および老年精神医学会の専門医は7名）
放射線科2名、リハビリテーション科（1名）、循環器科1名、
消化器科1名、骨代謝・整形外科（5名）が加わる。
看護師 31名（認知症専門看護師2名、非常勤6名）、看護助手1名。
心理士3名、言語聴覚士（1名）
精神保健福祉士1名
受付クラーク1名
薬剤師1名が専属で配置。



治験

臨床研修
治験推進センター



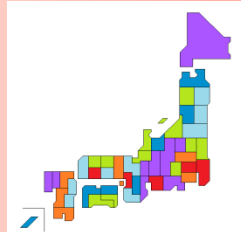
コホート研究

NILS-LSA
老化研究

大府 MCI コホート
コグニサイズ予防効果

人材育成

サポート医研修
（500人／年）



サポート医研修
の
加速

政策提言

在宅医療政策提言
認知症地域包括ケア
の重要性を指摘

認知症医療介護推進会議設立

新オレンジプラン政策提言



認知症G7サミット共催

NCGGサルコペニア（フレイル）臨床研究

平成22年

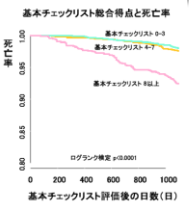
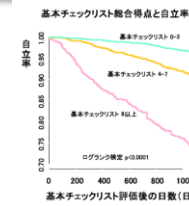
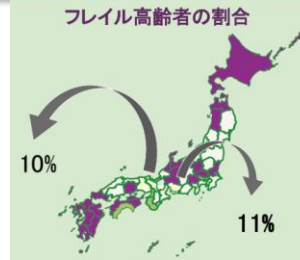
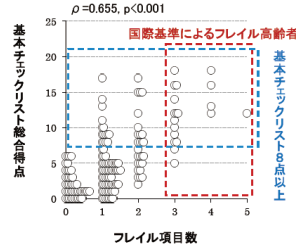
23年

24年

25年

26年

フレイル
診断



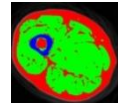
基本チェックリストを外来患者に実施

サルコペニア
診断治療

筋肉量
データ
ベース



微弱握力
計開発

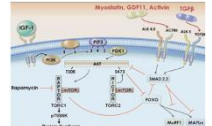


CT筋評価

骨粗鬆症薬で筋
肉も増加するこ
とを初めて報告

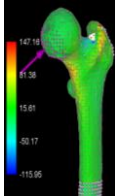
アジア
診断基準
作成

世界的治験
受託



二重エネルギーX線吸収法による筋肉量測定の定着

骨粗鬆症骨折
診断治療



CT骨強度診断

大腿骨近位部骨折予防手術の臨床試験

先進医
療技術
53承認



骨太
弁当

転倒・骨折
予防

転倒手帳配布
で転倒予防。



開発ヒッププロテ
クター製品化



背屈力測定器



転倒転落防止見守りセンサー



立ち上がり支援機器



特許登録
公開

フレイルへの
ロボット活用

生活支援ロ
ボット実用化
プロジェクト

バランス訓練ロボット



上肢訓練ロボット



装着型ロボット



歩行器ロボット



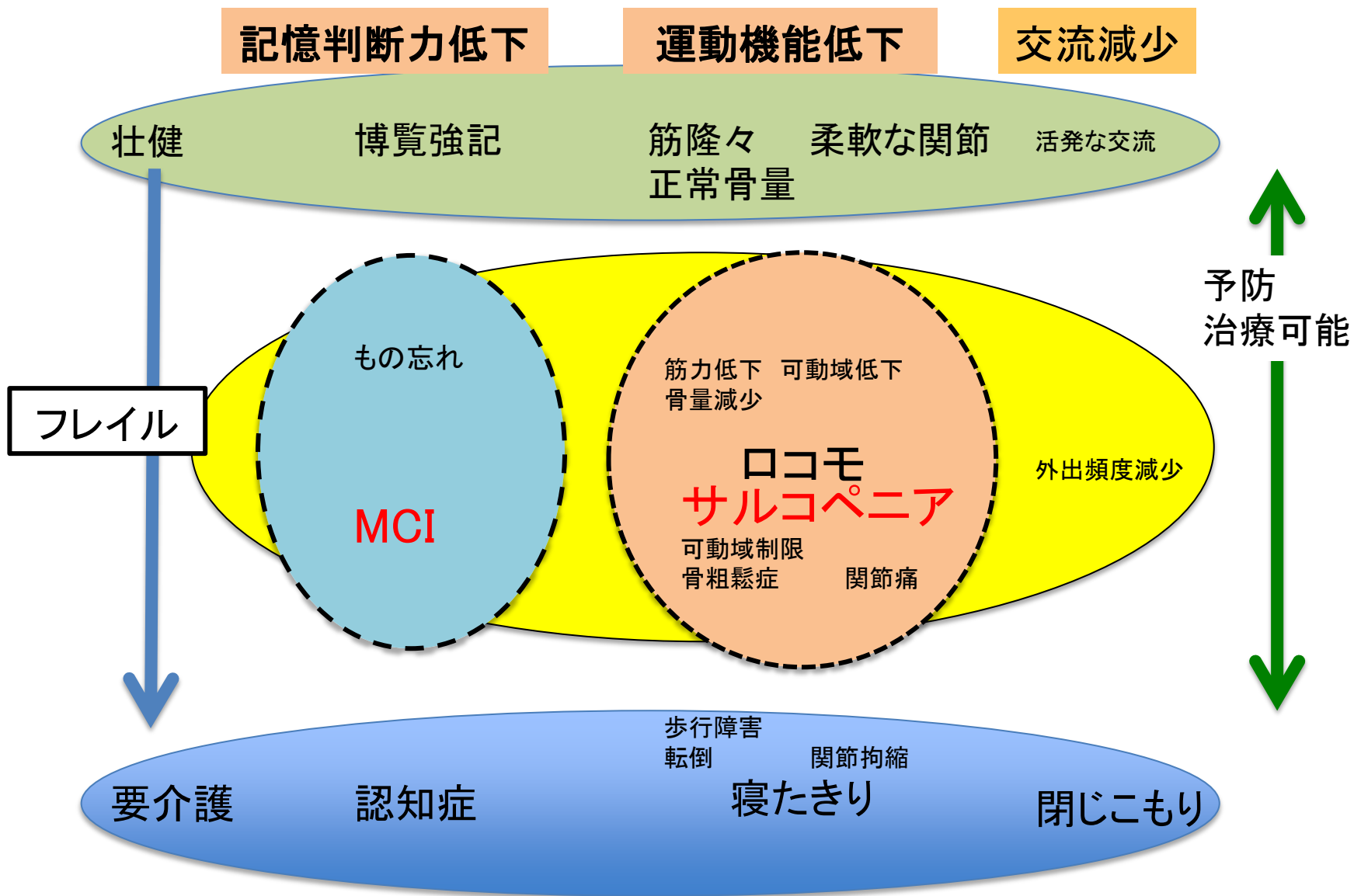
フレイルを考慮し
た医療の提供

在宅医療支援
病棟

回復期リハビリテーション病棟

地域包括ケア病棟

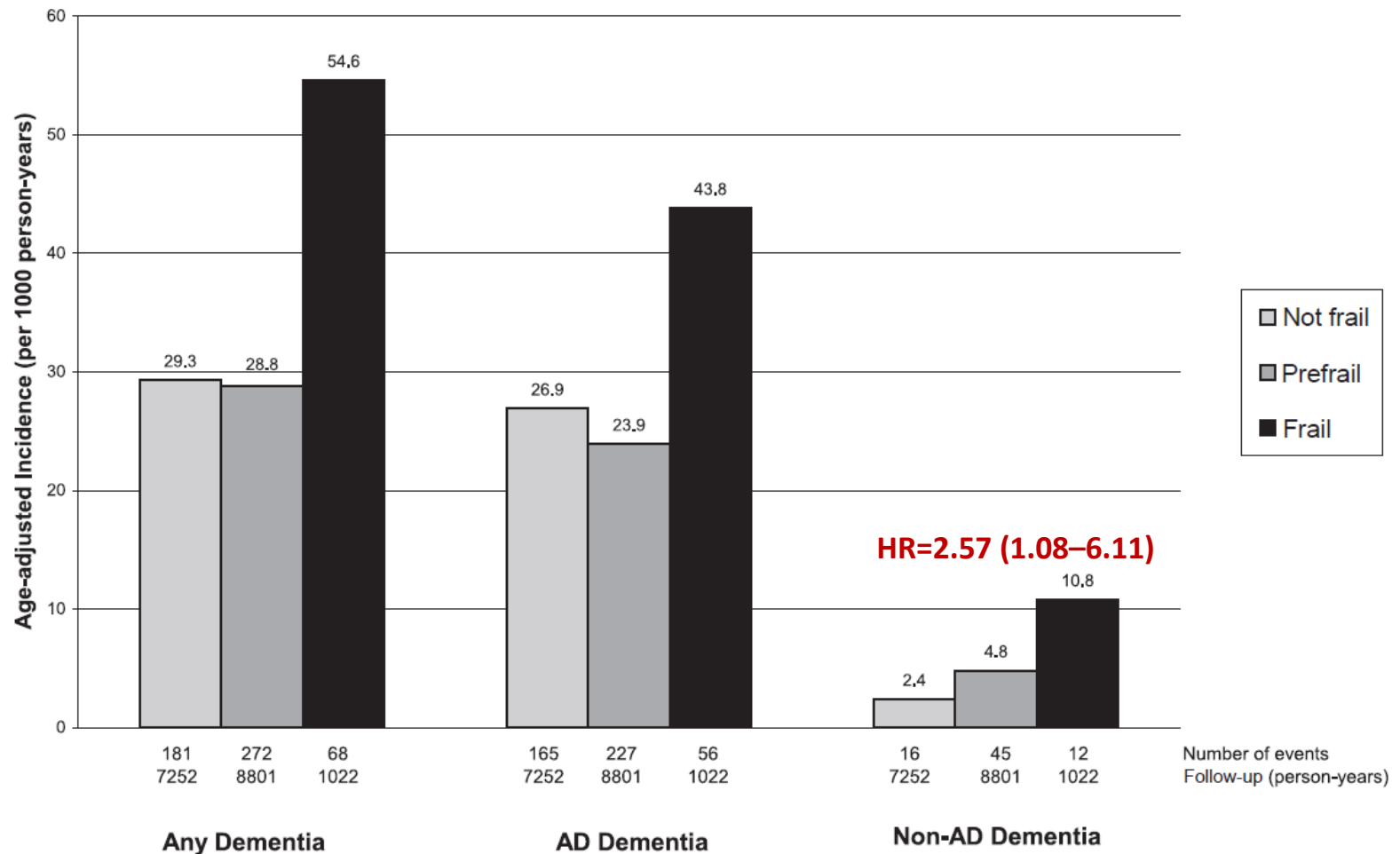
心身の自立を妨げる要因



運動の虚弱と認知症

Longitudinal studies

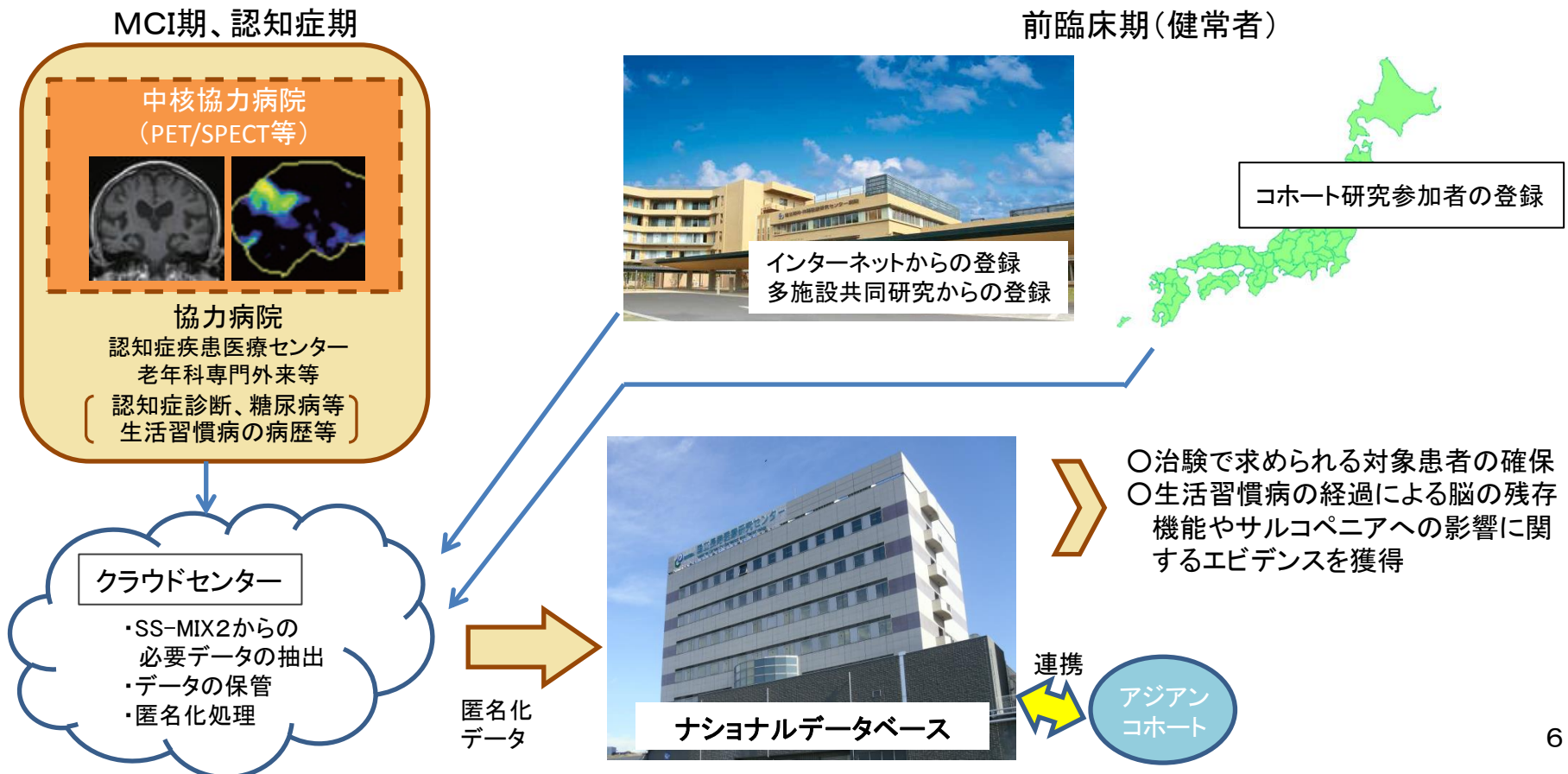
N=2619; older adults without dementia; mean follow-up=6.5 years



予防から進行期まで自立を促進する適時適切な医療ケアを提供するための MCI, サルコペニア等データベースの構築

- MCIの実態数の全国調査はなされていない
- 歩行速度はサルコペニアの最重要規定因子で認知症発症、進展の予測因子
- 関係医療機関とのネットワークにより、認知症の適時適切な医療ケアニーズを集積する。

患者レジストリシステム案



All Japan体制構築

MCI／サルコペニア 登録医療機関 ●
認知症疾患医療センターは緑

